

電子情報通信学会和文論文誌 A の小特集（2020 年 12 月号）として、「バイオメトリクスと認識・認証」を企画しました。バイオメトリクスは、パターン認識の応用として研究開発がなされ、近年では、セキュリティへの応用を念頭においた技術開発が急激に進展しています。これに伴い、パターン認識、メディア情報処理の研究者に加え、情報セキュリティ、物理セキュリティの研究者もバイオメトリクスの研究を担っています。また、バイオメトリクスは、センサ、アルゴリズム、実装、システム構築、サービスまで広範にわたる技術領域に関連するため、境界領域を含む大きな研究分野を担っています。本小特集企画では、バイオメトリクスに関する理論から応用までの幅広い研究成果を集積し、最新の技術動向及び今後の技術開発の方向性を展望したいと考えています。皆様の積極的な御投稿をお願い申し上げます。

1. 対象分野

以下のようなテーマの論文投稿を期待しておりますが、これらに限らず、広くバイオメトリクスに関する分野の論文の積極的な御投稿をお願い申し上げます。

- ・指紋、虹彩、顔、静脈、掌紋、耳介、歩容、ジェスチャ、署名、音声、マルチモーダルバイオメトリクスに関する認識・認証技術、及び、それらに関する画像信号処理・パターン認識技術
- ・テンプレート選択・更新、プレゼンテーションアタック及びそれに関連する技術
- ・バイオメトリクスに関するシステム設計、スマートカード実装、大規模認証、データベース、生体情報保護、性能評価、プロトコル、ベンチマーク、標準化
- ・サーベイランス、アクセスコントロール、エンターテインメント、決済、犯罪や災害時の個人同定などへの応用

2. 論文の投稿規程及びフォーマット

通常の和文論文と同一とします。原則として、論文は刷り上がり 8 ページ程度、レターは標準 2 ページ最大 4 ページとします。4 ページを超過しているレター原稿は受理しませんので御注意下さい。詳細は「和文論文誌投稿のしおり」(https://www.ieice.org/jpn/shiori/ess_mokuji.html) を御覧下さい。また、https://www.ieice.org/jpn/shiori/ess_1.html#1.2.4 にあります二重投稿に関するポリシーを注意深くお読み下さい。なお、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 論文の投稿

Web による投稿のみ受け付けます。下記の投稿手順に従って下さい。

電子情報通信学会 Web サイト https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx より投稿して下さい。

ソサイエティ／特集では [特集 BA] バイオメトリクスを選択して下さい。[一般 JA] 基礎・境界は選択しないで下さい。

4. 論文投稿締切日 2020 年 3 月 3 日（火） 厳守

5. 採否判定通知

著者には 2020 年 8 月下旬までに採否判定結果を通知します。なお、論文採録の場合には、掲載料をお支払い頂きます。支払い期日までに入金を確認出来ない場合は、掲載取り消しとなる場合がございますので、御了承下さい。

6. 問合せ先

安部登樹 富士通研究所デジタル革新コア・ユニット認証・決済プロジェクト

TEL [044] 754-2670, FAX [044] 754-2666 E-mail: abe.narishige@jp.fujitsu.com

※問合せはなるべく電子メールにてお願いします。

7. 小特集編集委員会

委員長 山田茂史（富士通研）

編集幹事 安部登樹（富士通研）

編集委員 青木隆浩（富士通研）、安部登樹（富士通研）、市野将嗣（電通大）、伊藤康一（東北大）、内田 薫（法政大）、海老原章記（NEC）、大木哲史（静岡大）、大塚 玲（情報セキュリティ大）、大山 航（埼玉工大）、加賀陽介（日立）、幸田芳紀（NEC／東北大）、坂野 鋭（島根大）、佐藤公則（東京工科大）、鈴木裕之（東工大）、高田直幸（セコム）、高野博史（富山県立大）、西内信之（首都大）、平野貴人（三菱電機）、堀江亮太（芝浦工大）、槇原 靖（阪大）、松濤智明（富士通研）、村松大吾（阪大）、山口利恵（東大）、山崎 恭（北九州市立大）、渡邊裕司（名古屋市立大）、渡部大志（埼玉工大）

8. その他

2020 年 1 月 1 日受け付け分より早期公開の対象となります。

詳細は「和文論文誌投稿のしおり」(https://www.ieice.org/jpn/shiori/ess_mokuji.html) を御覧下さい。